

2019年度活動報告書 赤松正行 役職：教授

学内での活動

1 教務委員会（委員長）

現在および今後のカリキュラムを検討し、授業が円滑に進行するよう連絡・調整した。

2 入学試験委員会

現在の入学試験を調整し、新課程創設を含めた将来の入学制度について検討した。

3 研究委員会

現在の学内研究、特にプロジェクト研究について評価と調整を行った。

4 芸術特論C（専門科目）

四方幸子、前林明次とともに専門科目である芸術特論Cを担当し、全教員による議論では今日のメディアと芸術をめぐる動向と諸問題を検討した。個別の講義では、ゲスト講師として岩淵潤子（アグロスパシア株式会社取締役・編集長、青山学院大学客員教授）を招き、「あいちトリエンナーレを廻る表現の自由と規制の問題」を議論するとともに、AIと5Gが普及しつつある現代社会の様相を考察した。

5. 移動体芸術（プロジェクト科目）

伊村靖子、鈴木宣也、瀬川晃、松井茂、前林明次とともにプロジェクト科目である移動体芸術を担当し、自転車やドローンなどの「移動」する道具装置と、それを利用する人々の様相を対象として制作研究を行った。その成果は、自転車に乗ることの批評性を探求する任意グループ「クリティカル・サイクリング」での活動や、2日間に渡って養老公園で開催されたアート・イベント「養老アート・ピクニック」の企画運営などにおいて発表した。

6 個人研究

個人ゼミを主催し、有志学生とともにメディア・アート関連の議論と制作を行い、参加学生の修士研究や年次制作などの指導をゼミとして行った。

学外での活動

展覧会やアプリなどを通じて、作品の構想から制作、発表、記録などの一連の作業を行った。これらの作品はモバイル・デバイスやウェアラブル・デバイス、そしてAR（拡張現実・変容現実感）やVR（仮想現実感）を基盤技術とする表現であり、自転車など伝統的なフォーマットを超える新しい可能性も探求した。

発表歴（時系列逆順）

- 2020.02.21 – 02.24 展覧会「Critical Cycling+移動体芸術展 2020 Winter」, IAMAS, 大垣
- 2019.11.02 – 11.03 アート・イベント「養老アート・ピクニック (2019)」, 養老公園, 養老
- 2019.10.25 - 10.28 韓国自転車事情調査, Seoul-Daejeon-Sejong, Korea
- 2019.10.19 アート・イベント「シェイク自転車」, 養老公園, 養老
- 2019.10.16 – 11.30 アート・イベント「パラメタ・テラス」, 養老公園, 養老
- 2019.10.06 アート・イベント「カクテル自転車」, ART FARMing, 名古屋
- 2019.08.01 – 08.25 展覧会「マジカルリアル」, サイエンスヒルズこまつ, 小松
- 2019.08.01 – 09.30 展覧会「移動体芸術・移動する作品展」展, ソフトピア・ジャパン, 大垣
- 2019.07.27 – 07.28 展覧会「Critical Cycling+移動体芸術展 2019 Summer」, IAMAS, 大垣
- 2019.06.26 論文「“Site of Reversible Destiny Yoro AR”: Platform for Utilization of Art Database and Development of AR System」, ISEA 2019, Gwangju, Korea
- 2019.06.22 – 06.24 韓国自転車事情調査, Seoul-Chuncheon, Korea
- 2019.06.14 – 06.30 展覧会「DIALOG #02」, Atelier im Petrushof, Obermarchtal, Germany
- 2019.05.19 – 05.12 展覧会「DIALOG #02」, Atelier im Petrushof, Obermarchtal, Germany